

新しい出会いの中で

新緑が美しい季節となりました。新入園のあかちゃんクラスからは元気な泣き声が響いていましたが、最近は何の子も自分の居場所をみつけ笑顔で活動しています。よく眠りよく食べよくあそぶ生活の中で、心と体の発達と成長を確かなものにしていきましょう。幼児クラスの子どもたちも、新しい担任や友だちとの出会いの中で友だちとの関わりを楽しんでいます。どんぐり保育園での、あそび・暮らし・文化を共有しあい、楽しい充実した一年をすごしましょう。父母の皆さんも子どもたちと一緒に保育園生活を楽しみ、子育て仲間をつくっていきましょう。

園総会

4月22日(土)に保育園総会が開かれました。2016年度の活動のまとめと決算、2017年度の活動方針及び予算が承認されました。職員会からは保育を伝える機会のひとつとして、幼児保育の話し合い活動の大切さと「ぼくたちわたしたちの生活をみてもらう会『エルマーの冒険』の一部ビデオ上映」をおこない実践報告がされました。また、保育運動部、職員労働組合からの報告、卒園家庭の父母(伊藤母、藤波父)から保育園時代を振り返る子育てについてのお話があり、元気がもらえる総会となりました。これからもよりよい保育をめざし、園運営に力を合わせていきましょう！！

学習の土台をつくる 脳育て

人間の脳は「古い脳」と「新しい脳」の2つに大きく分けられます。「古い脳」は生きていくために最低限必要な機能があり、すべての動物がもっています。「新しい脳」は、進化した動物だけがもち、記憶や思考、言語などの機能をつかさどっています。「新しい脳」の働きばかり訓練しても、土台になる古い脳がしっかり育っていなければ才能は伸びません。脳は2階建ての家のようなものです。体のあらゆる部分の働きをコントロールしているのが脳です。スポーツも勉強も心も、すべて脳の働きによるもの。だからこそ「すべての基礎となる脳」を育てることが肝心です。(小児科医・発達脳科学研究者:成田奈緒子氏)

どんぐり保育園では「よく眠り、よく食べ、よくあそぶ」生活を大切にしています。これは、乳幼児期の子どもの育ちに欠かせません。早寝早起き生活で、体内時計がしっかりつくられます。朝ご飯をしっかり食べ、一日の始まりには朝日を浴びて、昼間は五感を働かせ(視覚、聴覚、味覚、嗅覚、触覚)、夜は電気を暗くして十分な睡眠をとることが大切です。運動と脳は密接に関係しています。どんぐり保育園では、戸外あそび、リズム運動、手仕事(チップ落としや紐通しに始まり、造形・描画につながっていきます)を日常に取り入れ、手や体を使ってよくあそびます。手や足は突き出た脳と言われている、裸足は、足の裏から刺激をしっかりと脳に伝え脳神経を刺激します。(靴下は防寒時のみ使用)

早期教育を頑張るのではなく、テレビやゲームをできるだけ遠ざけ、絵本の読み聞かせや、親子の会話を楽しむことが大切です。

6月25日(日)はどんぐり祭！

職場や祖父母、知人に呼びかけ、祭りにお誘いしましょう！

どんぐり祭の意義:大学・地域に保育園の存在を伝え、父母・職員で交流しながら、子どもたちの処遇、環境充実のためのバザーをおこなう！大人や子どもが楽しめ、OB、地域の方が気軽に集える場とする！

保育園の運営は基本的には国や市からおいてくる補助金で行われますが、子どもたちの日々の保育を豊かにするためには決して十分ではありません。どんぐり保育園では園独自の保育士配置をはじめ、夏のプールあそびのための水光熱費、朝・夕の保育パート配置など、公費(補助金)収入の不足を補てんするため、また増改築工事をした時の本部からの借入金の返済のために、全父母、職員でバザーを行います。今年度も実行委員会を中心に準備が始まりました。OB職員・父母もみたらしだんごのお店を出店し協力をしてください。

みんなで楽しく成功させましょう。よろしく願い致します。